

今月のKYT（危険予知トレーニング）

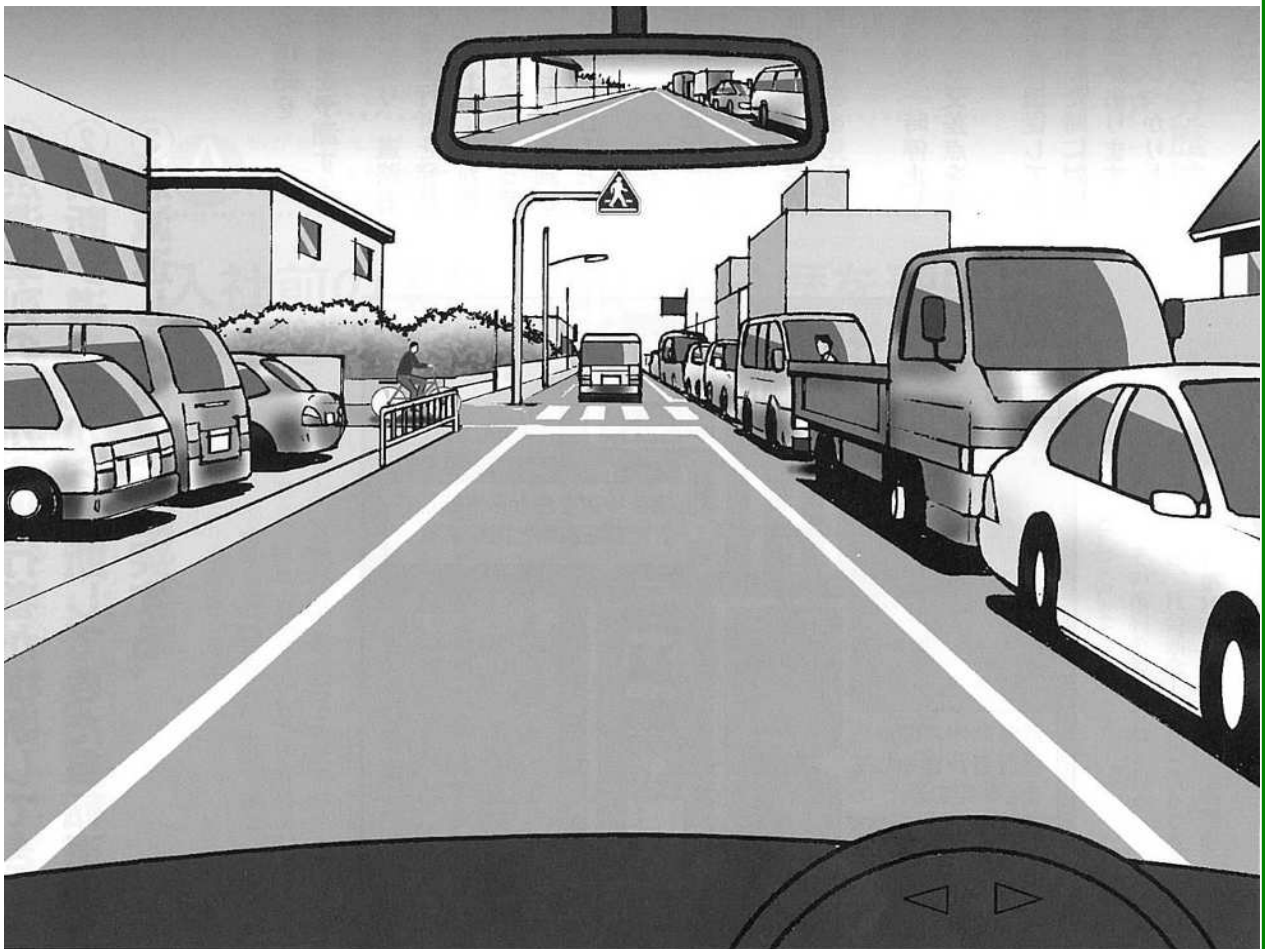
◆ 対向車線が渋滞している片側1車線道路を走行中です。

- 前方には横断歩道があります。
- 自車は、このまま進んで行きたいのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どんな危険が 潜んでいますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。

氏名

1

2

3



知 予 知 危 険 ポ イ ン ト

- ① 渋滞車列の間から歩行者が横断してきて衝突する。
- ② 横断歩道を左から横断してきた自転車等と衝突する。
- ③ 急減速した前車に追突する。

渋滞車列の間から道路を横断してくる歩行者を予測する

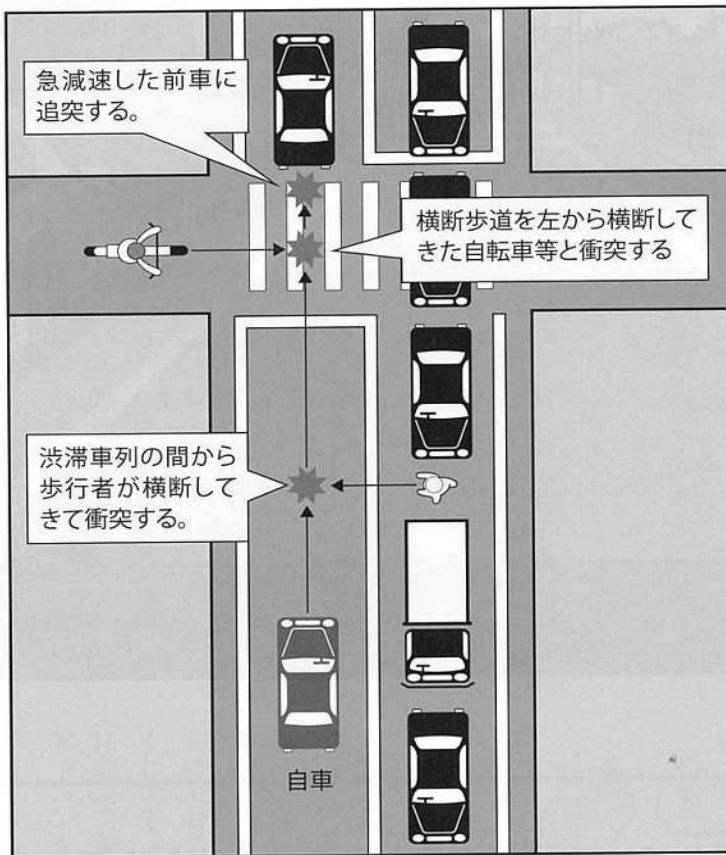
渋滞車列が死角となり、道路右側から横断してくる歩行者を発見しにくくなります。対向車線が渋滞しているときは、その間から歩行者が横断してくることを予測し、いつでも止まれるようにしておきましょう。

自車の左側や前方の状況にも注意を払う

渋滞車列に注意が偏ると、左方向から接近する自転車等を見落とす危険があります。

交差点手前で確実に一時停止して安全を確認してから交差点を通過しましょう。

また、漫然と前車に追従していると、前車が急減速した時に対応できず追突する危険があります。前車との車間距離をしっかりとっておきましょう。



注意の偏りは危険。万遍なく前方の安全を確認しながら走行すること。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。